



アホウドリ通信

No. 4

2025年1月24日



発行：
(公財)山階鳥類研究所

あけましておめでとうございます。2023年11月に開始されたアホウドリ寄附サポーターですが、536名もの方々にご参加いただき、2024年12月末日までに7,841,000円のご寄附をいただくことができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、今回のアホウドリ通信では、2024年11月に行われた鳥島第87次調査隊からの報告、アホウドリの長寿記録の更新、2025年度の寄附金使用計画についてお届けします。

■ 鳥島第87次調査隊 ～千羽鶴ならぬ万羽アホウドリを目指して～

2024年11月13日から12月2日にかけて、第87次調査隊が鳥島で調査を行いました。11月はアホウドリの産卵の時期です。アホウドリの生息数予測のためには、「何羽のつがいから何個の卵が生まれ、何羽が無事に巣立ったか」という繁殖成功率を把握することが必要です。今回の調査では、鳥島のアホウドリの卵の数を調査しました。

鳥島のアホウドリは、3つのコロニー（初寝崎、燕崎、子持山）（図1）に分かれています。天候などの条件を考慮し、調査の計画をたて、3か所のコロニーでの繁殖状況、卵の数を調べました。その結果、初寝崎コロニーでは834卵、燕崎632卵、子持山275卵の合計1,741卵が確認できました。2023年は計1,574卵でしたので、約10%増になります。2024年3月時点の推定個体数が8,600羽ですので、鳥島のアホウドリの個体数が1万羽に回復する日も目前に迫っています！

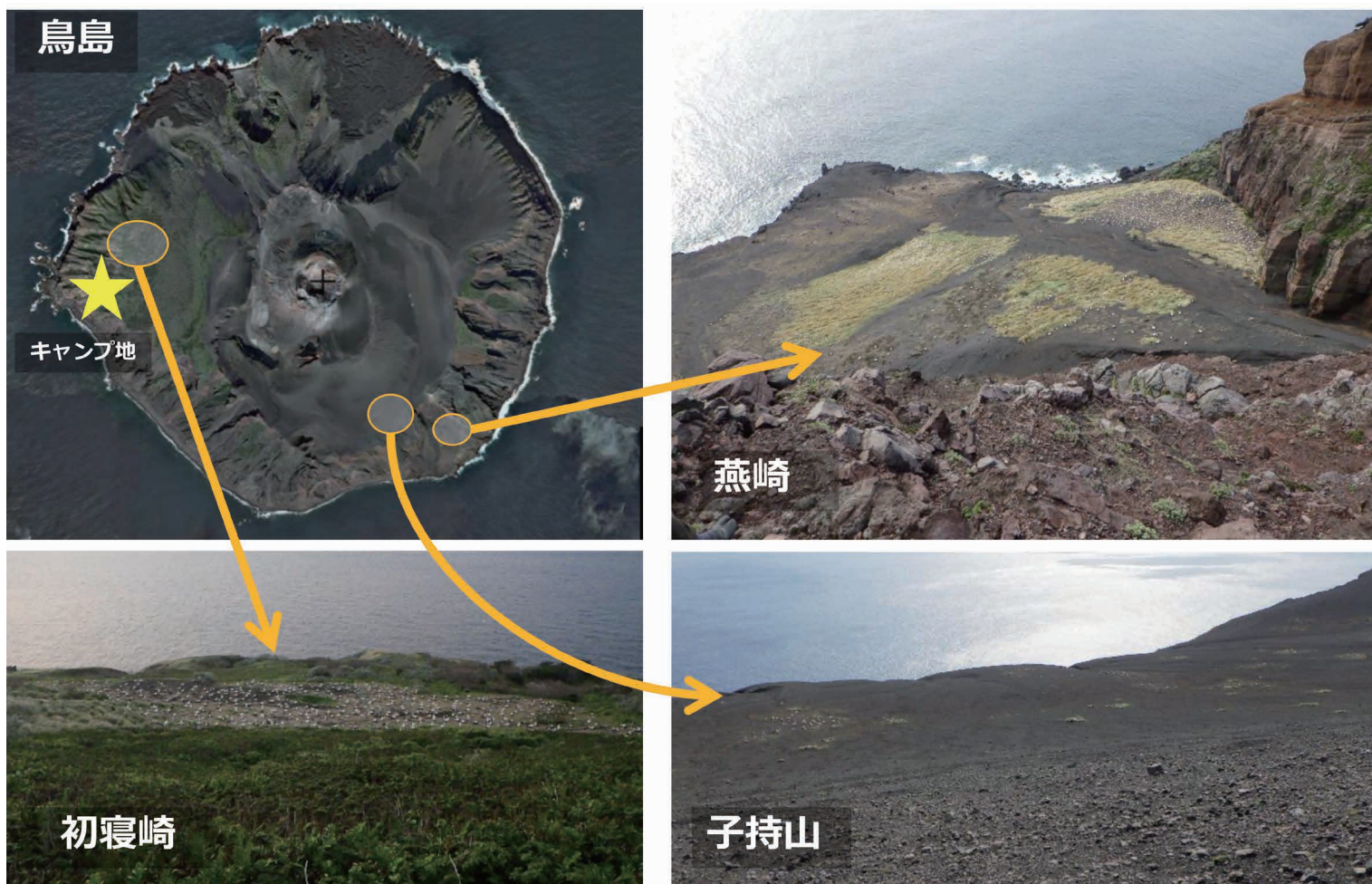


図1 鳥島のコロニーの位置図



写真1 八丈島から約20時間かけて、ようやく鳥島へ到着！（11月13日）



写真2 初寝崎のコロニー。1,000羽以上のアホウドリが集結！（11月24日）



写真3 燕崎コロニーをドローンで撮影。ドローンからの映像をその場でモバイルプリンタを使って印刷。この写真をもとに、コロニーに赴いて巣数カウントを行います。（11月16日）

鳥島 隊長からのひとこと



今回は行きも帰りも海が穏やかで、日中は海鳥を見ながらの航海となりました。鳥島の到着時は朝日が迎えてくれ、思わず調査の成功を祈りました。そのおかげか、3か所すべてのコロニーでアホウドリの卵数の増加が確認され、まずはほっとしました。さらに、アホウドリの長寿記録を更新する個体とも出会うことができ、先人たちが取り組んだ保全活動の大切さをあらためて認識しました。今回は他機関の研究者も島に入り、共同でアホウドリのダンス研究やクロアシアホウドリの採餌行動の研究も進めることができました。今後の展開が楽しみです。

次は2～3月にヒナの調査を予定しています。今回数えた卵から何羽のヒナと再会できるのか？引き続きのご支援何卒よろしくお願いいたします。（富田直樹）

アホウドリの長寿記録の更新

今回の鳥島調査では、大きな発見がありました！なんと、42歳を超えるアホウドリが確認されたのです。鳥島では1979年から現在まで、全てのヒナに足環が装着されています。足環には、個体識別用のシリアルナンバーが刻印されています。今回の調査では、1982年3月24日に足環を装着したヒナが、抱卵していることが確認されました。最初に足環を付けてから42年7か月。この鳥は1982年の1月頃に生まれたと考えられるので、今月、43歳の誕生日を迎えたこととなります！私は原稿を書いている思わず「お誕生日おめでとう！！」

とつぶやいてしまいました。みなさんもぜひ、こころの中でお祝いしてください！

詳細については[プレスリリース](#)もご覧ください。

アホウドリの仲間は、とても長生きなことが知られています。太平洋のミッドウェー環礁で繁殖するコアホウドリでは、[プレスリリース](#) 2024年12月に推定74歳のメスが卵を産んだというニュースがありました。日本のアホウドリもぜひ、頑張って長生きしてほしいと思います。



写真4 2025年1月で43歳の誕生日を迎えたであろうアホウドリとその卵！（撮影：今野怜）

■ 2025年度の寄附金使用計画

2025年度（2025年4月～2026年3月）は、皆さまからの寄附金で、小笠原諸島鴛島での調査を3回実施し、鳥島での調査機材を購入させていただき予定です。鴛島では昨年度、3羽のヒナが巣立ちました。アホウドリの新繁殖地創出に向けて、ここからが本番となります。アホウドリ完全復活の要となる調査に使用させていただきます。なお、2024年度（2025年3月末）までの使用実績につきましては、次号のアホウドリ通信でご報告します。

【2025年度予算】 鴛島調査費用3回：600万円

鳥島調査機材購入：10万円

その他管理費等：50万円

サポーター一覧（敬称略、50音順、2023年11月～2024年12月末日時点）

※広報物への掲載を承諾いただいた方のお名前を載せています。

青木友香、青柳武、赤塚京子、朝倉文子、浅野正弘、芦田裕子、東有子、新子省悟、アユカワジュンコ、荒川篤、新川その子、安藤由理子、飯田直己、飯田敏子、飯塚直樹、五十嵐雅哉、池田昌美、池田薫、石居正浩、石井亮、石尾大悟、石川静香、石川雅子、石田光史、石田勝英、石塚勉、石野晃平、石原義明、石部春花、磯部純子、いたばし野鳥クラブ、伊藤明子、伊藤多加代、伊藤英代、稲垣恵理、井上梓、井上邦久、井上仁、今田吉孝、今村祐可、岩崎金蔵、岩崎靖夫、岩田一宏、岩谷比呂子、岩本由加里、植田睦之、植西智雄、宇田川知美、江川史朗、江藤典子、海老原一郎、及川毅、大石悦子、大門泰子、大溪恭子、大塚常德、大橋正明、大旗英男、大畑良平、大山良雄、岡田英子、岡部武、岡村香里、岡本典子、小川真理、沖佳保里、奥田光江、奥田由美子、奥野卓司、奥山和代、尾崎清明、長田貴弘、織田和恵、小田谷嘉弥、小幡好昌、風間健太郎、柏木利秀、片岡晶子、片寄愛、甲藤知之、桂梨花、加藤美知子、加藤弥生、金岡靖幸、金木陽子、金竹恵子、(株)川村造園企画、鎌田美佳、上沖正欣、上園昭人、嘉村正徳、加山美恵子、河合愛佑、河合千恵美、河内真樹、川崎美重子、川嶋理夫、川村正人、菊地眞幸、菊地ひとみ、岸本真弓、北原克朗、北村友衛、絹村光代、木下裕子、木下道臣、金炯蘭、具志眞太郎、工藤隆、久保田容子、倉橋義弘、クラムボン動物病院、栗田幸子、栗原牧子、黒崎隼平、黒澤里美、黒澤信道、黒住皓彦、桑名英一、小泉佳一、小磯京子、神津千恵美、公認会計士黒田朱美事務所、神野英樹、国分世拓、小島信子、小島真知子、後藤綾子、後藤順一、後藤忠治、古藤田奈保子、小林誠二、小林真樹、小林泰之、五味忠則、小村健人、小柳正一、近藤浩人、今野怜、今野宣子、今野博、今野美和、今野基、齊藤タケオ、齊藤純子、佐伯彰光、酒井詩織、酒井由香、佐久間昭宏、佐久間聡子、サクマユキエ、櫻井太郎、佐々木彩佳、佐々木信子、佐田隆、佐藤彩華、佐藤雄久、佐藤晴男、佐藤正満、佐藤由美子、佐藤遼太郎、澤祐介、ZHIBO、重原美智子、芝昌繁、島田和人、嶋田一洋、嶋田久夫、嶋村早樹、清水伸彦、志村敏雄、下間明子、下野彰夫、社会保険労務士ナナオ事務所、庄子陽野、白石健一、白鳥慶江、城石麻央、城石一徹、菅原貴徳、杉浦和彦、杉本綾子、杉山小夜子、鈴木愛、鈴木君枝、鈴木卓也、鈴木剛志、鈴木康子、瀬尾桂一、関口祐、仙波美恵子、園村茂夫、大聖寺バードウォッチングクラブ、高井歩、高草木晶子、高崎隆志、高須英之、高橋俊夫、高橋朋子、高橋奈緒子、高橋真理、高橋幹夫、高畑邦則、竹内章夫、竹田亮三、竹田山原榮、蛸島直、多田祐子、田中晴美、田中由美子、田中浩史、田中里榮子、田邊章、谷口広吉、田野井翔子、田村数弘、丹野忠弘、千野真梨英、千葉すみれ、千葉桜えりか、塚原眞司、塚元夢野、辻武司、辻井浩希、辻幸治、土屋一郎、角田正美、坪井昌弘、坪井利文、露木潤子、寺島正彦、寺田知司、徳田和之、等々力泉、友成久世、鳥居住子、鳥飼久裕、長岡秀成、長岡律子、中川寛子、中込知香子、中島美佐子、長嶋葉子、永田泰佑、中塚将義、中野藍美、中野美由紀、中野弥生、仲真晶子、中邨大輔、中村琢磨、中村哲、中村哲雄、中村真佐美、中山一朗、中村淳、中元良子、永山幸男、新堀正則、西教生、西嶋和子、西出康紀、西村晋一、野口由紀子、野倉皇男、野崎直秀、橋爪誠一、橋本了次、羽田野佳子、畠山照子、服部裕子、浜香代子、林啓子、葉山久世、日笠大有、菱沼博志、平川早苗、平田勝裕、平塚蓮、平山順、深澤建哉、福田敬之、福田吉弘、福田篤徳、福間智子、藤井郁代、藤井早紀、藤本和子、藤森賢也、船津登、北條政利、星ゆきこ、堀内豊太郎、堀川絵美、堀信太郎、本田春果、前山亮、牧野多美子、増井暁夫、舩方涼子、升田智也、増永亨介、松井正之、松尾吉洋、松島健、松村雅行、眞峯曜子、黛朋花、水井元太、水村祐梨、三谷信代、三井陽子、光成高志、峯尾雄太、宮崎忠芳、宮地順子、宮寺良一、宮野良子、宮良奈保、村上真由美、村田光江、本橋明夫、本村彩織、百瀬淳子、森碧、森洋子、森亮太、森脇史郎、八重樫操、矢ヶ崎和明、矢崎大我、柳智恵、柳由紀子、柳原裕子、山口恵美、山口満雄、山口貴之、山崎喜与実、山崎泰正、山下広大、山田隆章、山田奈美香、山田裕子、山西久美子、山根みどり、山谷輝美、湯澤尚子、湯瀬智世、油田信一、油田春人、横尾昌紀、横田昌三、吉井則子、吉木務、吉田香織、吉田直矢、義田美夫、吉田侑真、米山富和、米山実里、若林奈都子、渡辺耕次、渡邊直美、渡邊祥子、渡部良樹

